

2 - 6 江刺地球潮汐観測施設における地殻変動の連続観測

Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

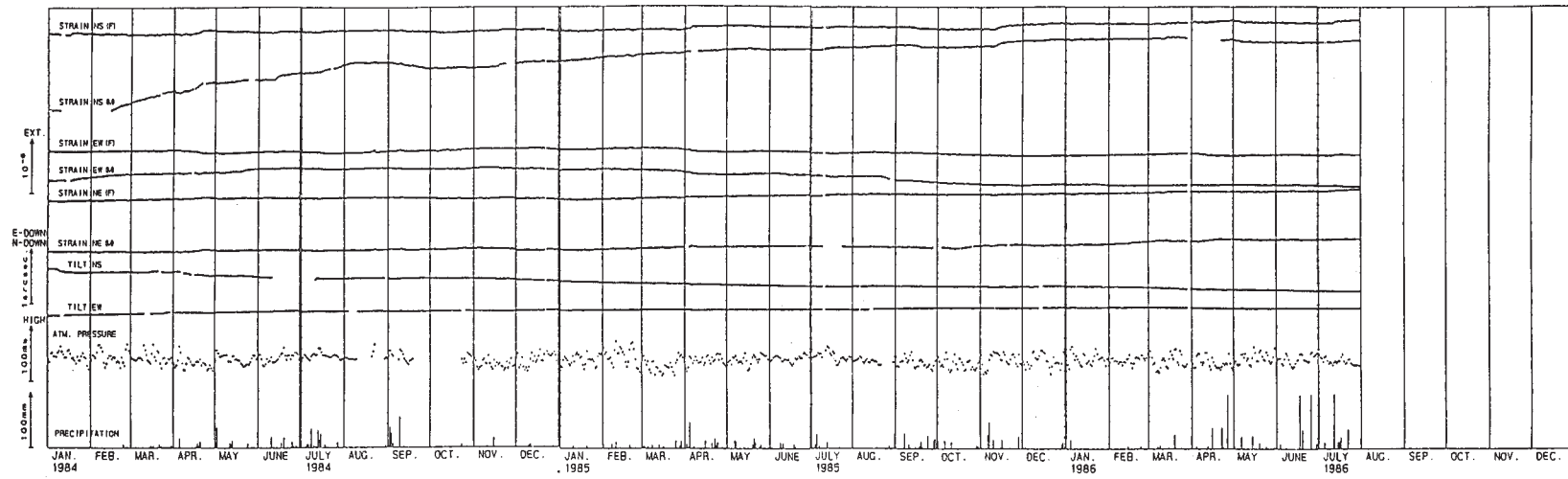
緯度観測所

International Latitude Observatory of Mizusawa

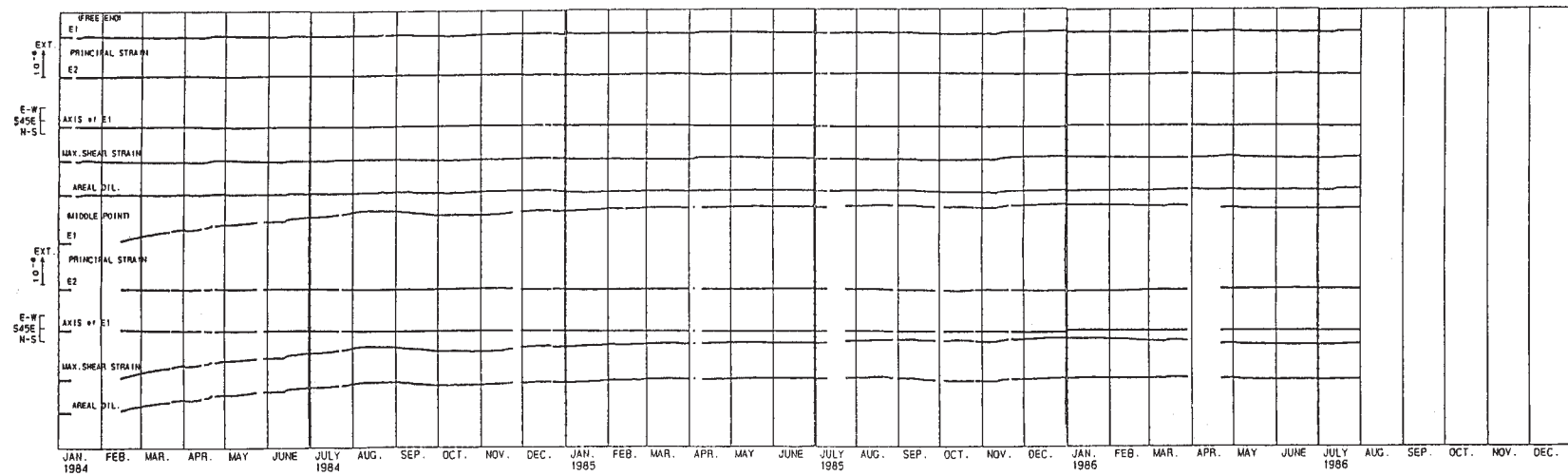
前報（第 36 巻）に引き続き江刺地球潮汐観測施設における歪，傾斜変化の連続観測結果を報告する。

第 1 図は，1984 年 1 月から 1986 年 7 月までの歪，傾斜の経年変化，気圧，降水量の変化を示しており，第 2 図は，観測された歪変化から求めた主歪とその方向，最大剪断歪および面積歪を示している。歪データ（F）は，伸縮計の全区間，（M）は中間点におけるものである。歪の NS（M）に見られる 1984 年 2 月から 9 月にかけての大きな変化は，器械的なものである。この他には特に大きな変化は見られない。

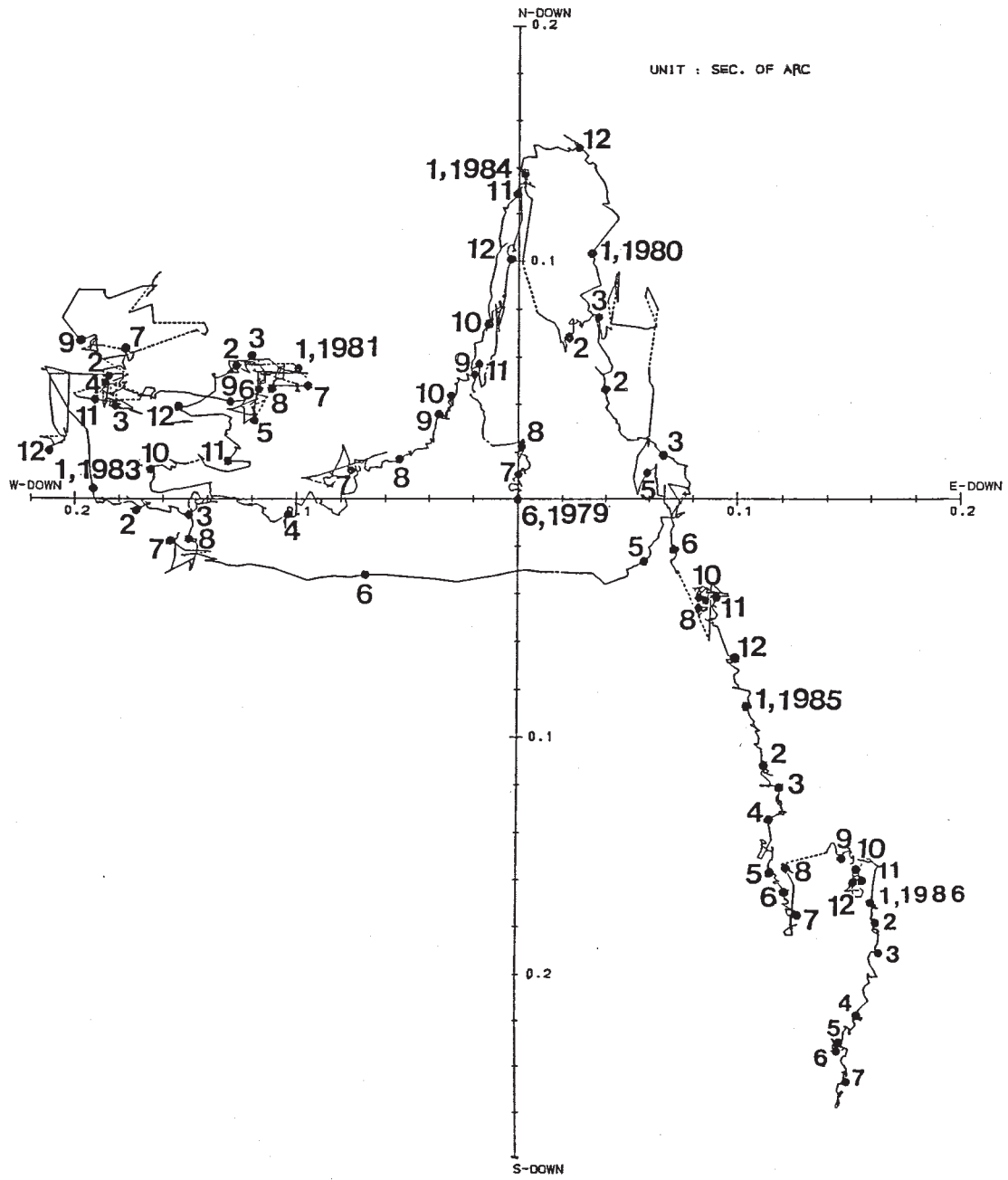
第 3 図は，傾斜ベクトルを示すものである。1984 年 1 月頃から，南南東下りに傾動が続いていたが，1985 年 7 月頃に反転した後は 11 月頃まで大きな変化はなかった。しかし，この後再び大きな変化を見せ始め，ほぼ一様な南下りを示している。1986 年 1 月から 7 月にかけての平均的な傾斜率は約 $0.016''/\text{month}$ である。



第 1 図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪及び傾斜の日平均値
 Fig. 1 Daily mean values of ground strains and tilts observed at the Esashi Earth Tides Station.



第 2 図 主歪, 最大剪断歪及び面積歪
 Fig. 2 Derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.



第3図 地盤傾斜ベクトル図

Fig. 3 Vector diagram of ground tilts.